



介護福祉士



高齢者や障害者の介護で、
人と社会に貢献

OG VOICE

高齢者の方から
元気をもらっています



手塚 望希さん

特別養護老人ホーム/
障害者支援施設 新堀やき園 勤務

医療福祉学部
医療福祉・マネジメント学科 卒業

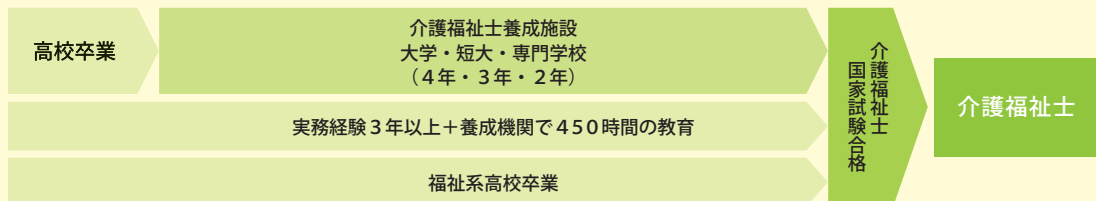
障害のある方のトイレ、お風呂や食事のサポート、ご入居されている方には就寝の準備など、生活のさまざまな場面での支援を担当しています。「昨日のテレビ、見た？」のような会話で和んでいただくにも、利用者様の興味のあることや性格、表情などをゆっくり時間をかけて知っていくことが大切です。また長く接するうちに、身体の微細な変化に気がつくようになります。一人の利用者様を理解するのに何年もかかる、奥の深い仕事だと実感しています。

どうすればなれる？

- 介護福祉士国家試験に合格しなければなりません。

受験資格を得るには…

2～4年制の養成施設で専門知識・技能を学び卒業する
3年以上の実務経験を経て、養成機関で450時間の教育を受ける
などの方法があります。



※養成施設卒業生は、2022年度より国家試験を受験し、合格しなければ介護福祉士になることはできません。

※2021年度までは経過措置として、原則卒業後5年間連続して介護の業務に従事することで、介護福祉士の資格を取得することができます。

どんな仕事？

専門知識と技術で日常生活を支援

認知症や寝たきりの高齢者や障害者など、日常生活を営むことが困難な人に、衣服の着脱・食事・排泄・入浴などの支援を行います。少しでも自立した生活が送れるように、介護のスペシャリストとしての専門知識と技術を用いるとともに、それぞれの家庭の事情に合わせて、家族などに介護の指導を行います。

どこで働く？

さまざまな介護保険施設をはじめ、 在宅サービスのニーズも

- 介護老人福祉施設
- 介護老人保健施設
- 障害者支援施設
- 在宅介護サービス事業
- 公務員
- など

仕事の展開と将来の展望

需要が高まる介護のスペシャリスト

日本では、65歳以上の高齢者が全人口の25%を超え、今や4人に1人が高齢者という超高齢社会です。そこで、栄養学・調理・心理学・医学一般の知識に加え、リハビリテーション技術と介護サービスを熟知した介護福祉士の存在価値はますます大きくなります。介護福祉士と社会福祉士の両方の国家資格を取得することも可能で、ケアマネジャーの資格を取得してステップアップしていく道もあります。